

このハザードマップの使い方

STEP1 知る

ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！

巻末のポケットに2枚(両面印刷)の地図を収納しています。
地図を広げて自宅などの災害リスクをチェックしましょう。

ハザードマップの種類		浸水深				家屋倒壊等氾濫想定区域	
		～0.5m	0.5～3.0m	3.0～5.0m	5.0～10m	河岸侵食	氾濫流
洪水	金倉川(計画規模)	☐	☐	☐			
	金倉川(想定最大規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	土器川(想定最大規模)	☐	☐	☐			
	弘田川(計画規模)	☐	☐	☐			
	弘田川(想定最大規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
ため池	満濃池	☐	☐	☐	☐		
	市内ため池	☐	☐	☐	☐	☐	☐
土砂災害	土砂災害警戒区域等	土砂災害(特別)警戒区域内					
		(急傾斜地) ☐	特別警戒区域(土石流) 警戒区域 ☐	特別警戒区域(地すべり) 警戒区域 ☐	警戒区域 ☐		

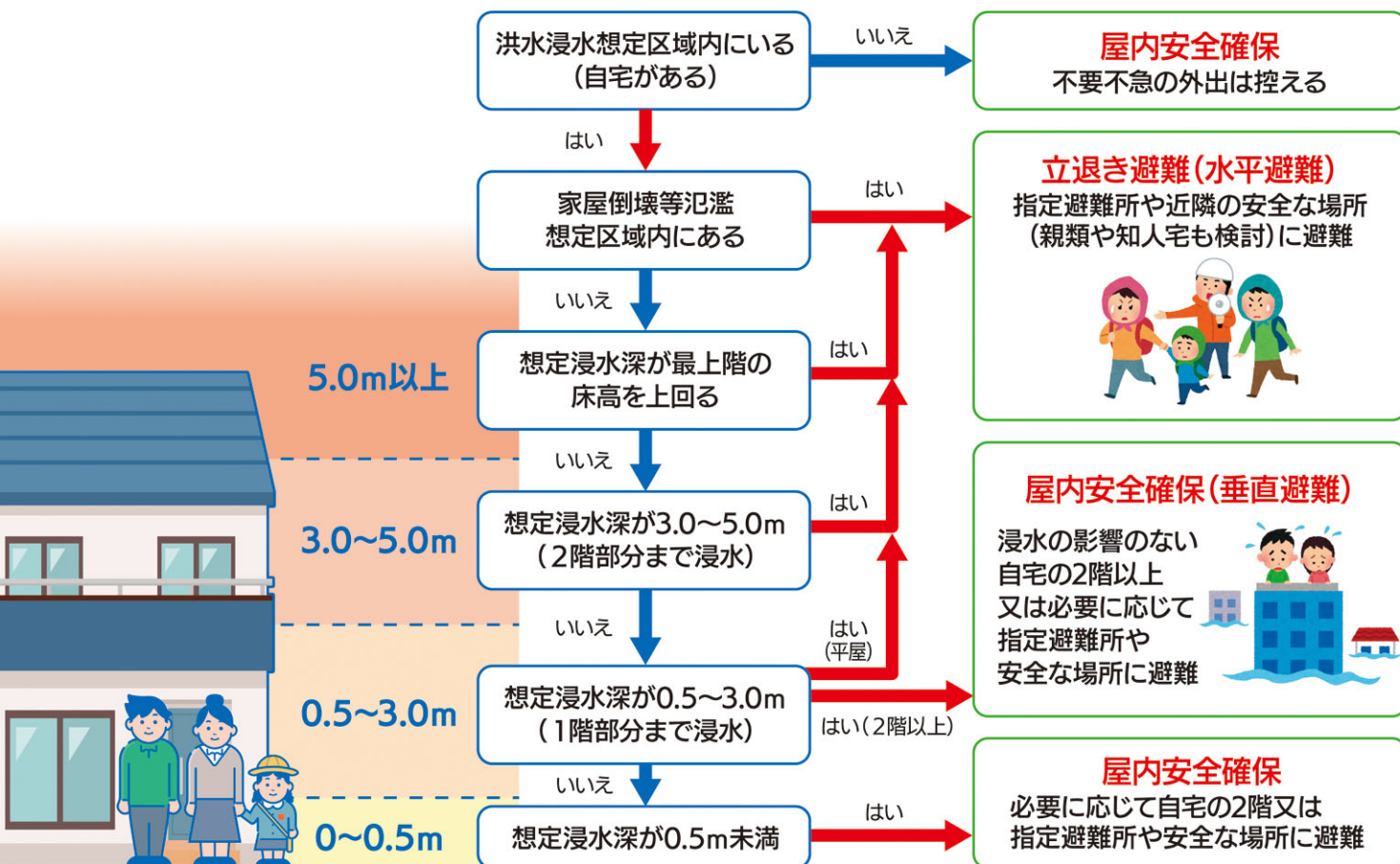
STEP2 確認

災害時の防災行動を確認しましょう。

下記のフローチャートや、各ハザードマップの情報を参考にして、災害時の防災行動を確認しましょう。

地震の時の防災行動はP.7へ！

ため池決壊の時の防災行動は「ため池ハザードマップ」へ！



STEP3
考える

ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！

安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを避難指示等の行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。考えがまとまったら巻末ポケットの「マイ・タイムライン記入カード」に書き込みましょう。

善通寺市 ○○地区○○家		マイ・タイムライン		作成年月日 年 月 日	
① ◇黒：気象情報 ◇緑：避難情報 ◇台風予報 ◇レベル1 早期注意情報（警報級の可能性） 警戒レベル1 ◇時系列情報（明日までの警報等の見通し） ◇レベル2 大雨・氾濫・土砂災害注意報 警戒レベル2 ○避難所の開設 ◇レベル3 大雨・氾濫・土砂災害警報 警戒レベル3相当 → ○高齢者等避難を発令 ◇レベル4 大雨・氾濫・土砂災害危険警報 警戒レベル4相当 → ○避難指示を発令 ◇レベル5 大雨・氾濫・土砂災害特別警報 警戒レベル5相当 → ○緊急安全確保を発令		記入例 ○台風の今後を調べ始める ○1週間分の薬を病院に受け取りに行く ○家の周りに風ではたされるようなものはないか確認 ③ ○テレビ、かわわ防災webポータル、香川県防災ナビ及び高松地方気象台ホームページ等から防災気象情報を収集し始める ④ ○避難する時に持って行くものを準備する ○浸水しそうな場所に土のうを積む ○早期注意情報や雨雲の動きを確認する ○携帯電話を充電する ○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認する ○川の水位を調べ始める ⑤ ○避難に時間がかかる高齢者等は避難を始める ○その他の人は避難できるよう準備する ○浸水キキクル、洪水キキクルや土砂キキクルから住んでいるところの危険度を確認する ○携帯メール等で避難指示を受信 ○安全なところへ避難する ○命を守る最善の行動をとる		② POINT ① 地域のハザードマップやタイムラインなどを確認し、どのタイミングでどのような情報が得られるのかを整理します。なお、河川水位は、突然上昇することもありますので、継続的に河川水位に注意しましょう。 POINT ② 事前準備、避難開始までの行動、身の安全の確保という流れで、それぞれの時期に行う内容を検討します。 POINT ③ 防災気象情報をどのように得るのか、あらかじめ取得方法を確認しておきます。 POINT ④ 災害後に避難生活がつづくことも想定し、事前の備えをしておきます。 POINT ⑤ 災害情報と照らし合わせ、避難を開始するタイミングを明確にしておきます。	

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

水位等の状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

身の安全を確保すべき時期